

柏原保育園

日時：平成20年1月18日(金) 13:00~17:00

平成20年1月24日(木) 9:00~17:00

場所：米原市柏原2217-10

柏原保育園は中山道沿いの古い町並みの中にあります。そばに白枝神社があり、子どもたちの散歩コースになっています。

プログラムを作る前に下見に行きました。



この神社で何をしてあそんだらおもしろいのか。イメージを膨らませながら下見をします。



この日は寒い日だったので、参道を利用して、体を動かすゲームをしました。鬼が言ったキーワードが好きな人は参道より右の木、嫌いな人は左の木に触りに行きます。同じ木は触れません。



神社に落ちている杉、石、枝でどんなあそびができるのか考えます。ジャンケンあそびや自然物並べゲームなどあそびが広がります。竹やぶの中では、見上げたり音を聞いたりしました。支援者の五感を呼び覚まし、プログラム作りをします。



「自然のフルコース～集めて、不思議体験！！～」のプログラム

神社にたくさん落ちている自然物を種類別に集めます。

杉はいっぱい落ちているから、すぐにいっぱいになったよ



恐竜がいた頃から

この大きな木はいつからあるんだろう？

大きな切り株にも自然物を集めます。たくさん集まったところで、今度は自分たちが乗ってみます。



ここに実が落ちてるよ



切り株には、子どもたちも支援者も全員乗ることができました。たいへん大きな切り株だとわかり、大昔からここで生きていて、命が続いていることに気づきました。

「みんなでスクラッチ！！」のプログラム

好きな木を探し、木の感触を確かめてから、こすりだしをします。

あたたかいで！



同じ木やのに、こっちはぬれてない！！

木と同じや！！

手が冷たくて、動かへんわ！



こすりだしを見て、どの木をこすりだしたのか当てっこをしました



これはなんでしょう？



これは、幼稚園の庭にある木です。園に帰ったら、探してみてください。

イチヨウの葉っぱ

みんなが一人ひとり違うように、木も1本1本違うことがわかりました。

「神様のめがね」のプログラム

神社にたくさん落ちている杉の枝を探し、触ったり、におったりしました。その後、杉の葉のおかあさんの木を探しました。



クチュクチュしておうの



これが絶対おかあさんの木や！



境内で「神様のめがね」(ルーペ)を発見しました。



海が見える

キラキラして、ぜんぜん違う

木ばかりでなく、手のしわや雪の結晶、雪が溶けている様子などを神様のめがねで見ました。みんなが発見したものや不思議に思ったものには、何も無駄なものはありません。

参加された先生の

声

普段の保育では秋に外に出て散歩をしていたが、秋だけではなく、身近にある自然を取り入れて四季あそべることに気づかされた。また、自然であそぶことは複雑ではなく、単純でのびのびあそべるのがわかった。

おもちゃや遊具がない所では何もあそべないと思っている保護者にも、石や葉っぱであそべることを伝え、私たちも実践していきたい。

はじめてあったもの同士でプログラムを立てることは心配だったが、意見を出し合いながら作っていくことで、仲間意識を感じ、楽しい研修となった。

Q & A

(解答:講師 島川武治(しまっち))

Q:今回のように雪が降り、下見をしたときと自然の様子が変わっていたときの対応の仕方のポイントは何でしょうか？

A:概ねプログラム通りできると思いますが、子どもたちがあそびに集中できなかったときは、この活動で何を伝えたいのかで、活動内容を決めます。今ここで何ができるのか、何を伝えたいのか、自然はそのときそのときで変化し、活用できるものも変わってきます。今回だと雪を観察することができました。手のひらに雪をのせて、ルーペで見たとき「キラキラしている」「ほんまに雪が溶けていっている」などのつぶやきもありました。自然とうまく調和し、対話しながら進めていきましょう。